

まちづくりオープンミーティング意見概要（6/11 人権文化センター）

予算については、過去年度と比較し、傾向が分かるような説明をしてほしい。
意見交換の場は時間制限を設けず、エンドレスに開いてほしい。
市として必要な事業があるならば、短期的（4年程度）に市債（借金）が増えても構わない。先行的に事業を行えば魅力ある市になると思う。
B/S（バランスシート）的な基金と市債の明細を明快にしてほしい。
出産費用は先に市が立て替え払いしてほしい。
学校の先生に研究など自己研さんでできるような自由時間を与えてほしい。
市議会議員の人数は市の人口1万人につき1人でよい。1人当たりの報酬を増やす代わりに真剣に頑張ってもらいたい。
市職員はよく頑張っている人とそうでない人が二極化しているように感じる。360度評価などができるようにすれば、もっと風通しのよいスピーディな対応ができるのではないか。
神戸市、姫路市、加古川市、明石市の中で、明石市だけ過去4年間ほど人口が増えており、加古川市はわずかず減っている。都市の魅力は人口が増えるかどうかということだと思う。人口増になるような街づくりをしてほしい。
広域行政事務事業について、平成26年度決算額の3760万円が平成27年度以降330万円、420万円と大幅に下がった理由を教えてください。
市外で開催した物産展の費用対効果はどのくらいか。
子ども手当が入る通帳を世帯主以外の名義の通帳にしたいが、それが可能かどうかを知りたい。
子育て世代に対し充実した資金を充ててくれているのはありがたい。
保護者への支援だけでなく、サポートする支援員への対応や施設の充実に予算補助をしてほしい。
児童クラブの支援員、補助員、代替員では同じ仕事をするのに、それぞれへの対応や報酬が異なるが、それでいいのか。
児童クラブの支援員同士のコミュニケーションや子どもたちの情報の共有を勤務時間内に行うことが難しく、行き届いたサポートができるかどうか不安である。
急激な児童クラブの増設により、支援員、補助員への十分な指導や研修がないままにスタートしてしまっている。補助員でもサポートしやすいような体制を整えてほしい。
児童クラブの補助員の増員も必要だと思うので、年齢制限を70歳から75歳に引き上げることや、引退したベテランの先生を代替員として採用することなども予算の中に入れてほしい。